

教育・研修制度について

1. 新人研修

入職後、病院全体の新入職者オリエンテーションの他、Off the job 形式の「リハビリテーション科 新人教育共通プログラム」として先輩療法士による講義・演習および On the job 形式の臨床指導を実施します。先輩療法士による「屋根瓦方式」の指導のもと臨床研修に取り組みます。1年目から、入院（急性期病棟、回復期リハビリテーション病棟）・外来診療に加え、併設介護老人保健施設における入所・通所などの治療を通して主担当として自立できるよう指導します。定期的な勉強会に加え、ケースレポート、ケーススタディなどを必要に応じて行い、地方会などでの年1回の症例研究・研究発表を目標として指導します。また、医療人である療法士として必要な基本的な心構え・接遇・マナーおよび基礎的知識と技能習得の必要性を指導します。

2. 院内教育研修

「新人教育共通プログラム（講義形式主体）」

1. 職業倫理
2. 卒後臨床教育・研修プログラム説明
3. リハビリテーション管理業務（病院組織、業務の指針、就業規則）
4. 業務1（業務全体の流れ、保険請求にかかわる業務、一般病棟業務、回復期リハビリテーション病棟業務、療養病棟業務、外来業務、訪問リハビリテーション業務、介護老人保健施設業務、PT 業務、OT 業務、ST 業務）
5. 業務2（身体障害者手帳、義肢装具等処方、介護保険、家屋調査）
6. 診療報酬
7. 患者情報管理（リハビリテーション総合実施計画書、カルテの見かた、書き方、SIAS・FIM・チャート、退院時要約、外部・内部報告書、患者情報、データベース、リハビリ業務システム）
8. 医療事故（リスク管理、救急時の対応、院内感染、ライン管理、ヒヤリハット報告）
9. 受付・電話業務・職業人としてのマナー（言葉・対応）
10. 係・委員会活動
11. 機器説明（物理療法機器等）

12. 病棟介護実習

各種研修・勉強会

1) 新人症例検討会

症例報告者: 当該年度新規職員

報告症例: 新人担当症例を 1 例

参加者: リハビリテーション部門全スタッフ(PT,OT,ST)

内容: 評価、計画立案、実施の段階での先輩スタッフからの意見、質問事項に対する回答

2) 症例検討会

症例報告者: 経験年数2～7年スタッフ

報告症例: 報告者担当症例 1 例

参加者: 理学療法士、作業療法士

内容: 評価内容の分析、治療方針、治療方法選択についてグループワークを行う。

3) 伝達講習会

内容: 院外研修に参加したスタッフより概要を伝達。

開催回数: 研修会参加2週間以内に随時開催

参加者: リハビリテーション部門全スタッフ

4) 科内研究発表会

内容: 積極的な研究活動を進めるため研究活動、発表を行う。

開催回数: 研究デザイン報告会 2～3 回、研究発表会 年 1 回

参加者: リハビリテーション部門全スタッフ

学術発表&論文投稿 到達目標

卒後1年	症例発表(県西部レベル)
卒後2年	症例研究・調査研究(県・東海北陸ブロックレベル)
卒後3年	症例研究・調査研究(全国レベル)
卒後4年以降	症例研究・調査研究(県・東海北陸ブロックレベル・全国レベル) 学術誌投稿

5)部門別勉強会(以下理学療法部門例)

コアセラピー入門

足底板療法(外部講師)性

「病棟 ADL」の考え方と実際

高次脳機能障害

アイソフォースの使い方

パルスオキシメーターについて

シーティング

人工呼吸器の How To

呼吸リハビリテーション

「御前崎介護予防運動指導士」養成事業の現状について

パワーリハビリテーション脊椎のアライメントと腰痛肺炎ガイドライン

解剖・生理学から見た摂食・嚥下機能

認知リハビリテーションについて

排泄ケアについて

下肢装具

脳卒中ガイドライン(自立度予後予測)

統計について